

テーマ：野々市市に合った仮設住宅

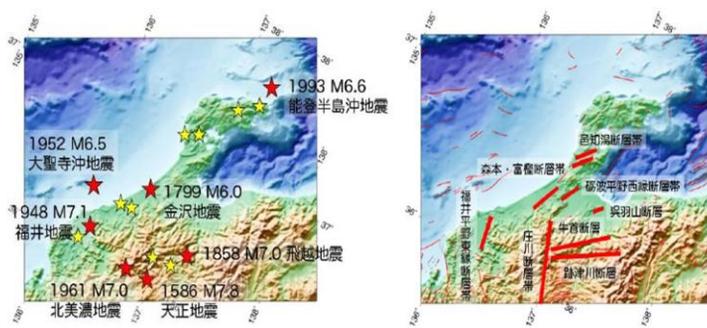
野々市市からの要望

- ・一時提供仮設住宅の提供
- ・応急仮設住宅の建設
- ・緊急避難所等におけるプライバシーの保護

条件

- ・2000m²の公園に10~80戸
- ・1人あたり1.5畳
- ・1戸あたり27m²=9坪

現状(北陸地方の活断層)



理想の状態

- ・迅速に建設可能な仮設住宅
- ・安全かつ安心できる施設の提供
- ・プライバシーの確保

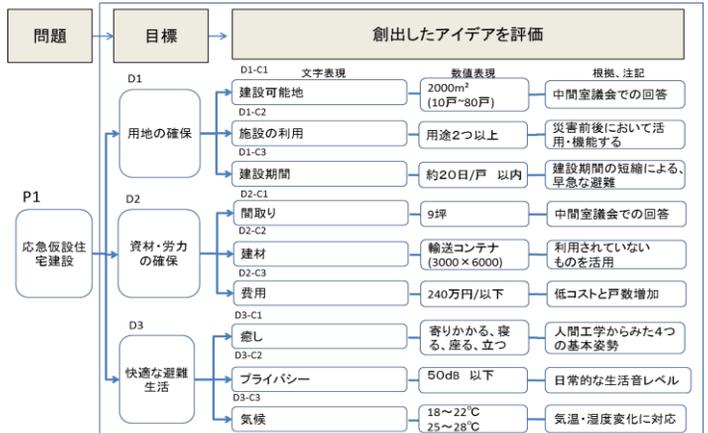
問題点

- ・必要戸数と建設期間
- ・高齢者の孤独死、プライバシー
- ・供与期間
- ・工場被災による建材不足

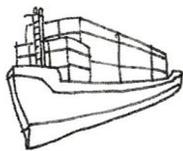
調査(過去の災害から)

- ・建設期間の長さ
東日本大震災:約1年
阪神・淡路大震災:約半年
- ・住宅の利用者
高齢者が多く、プライバシーの保護
孤独死などの問題
- ・供与期間
入居から約2年が目安

要求仕様

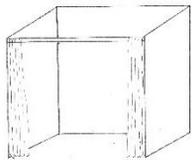


アイデア



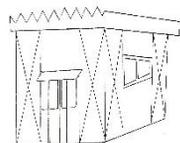
資材・労力の確保

- ・海外輸送コンテナの利用
- ・公共施設の利用
- ・海外との連携



快適な仮設住宅

- ・安らげる家具の製作
- ・段ボールの活用
- ・緑を取り入れる



用地的確保

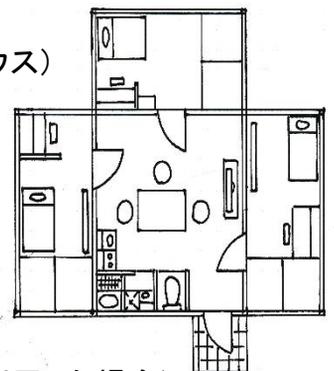
- ・トラックの荷台を利用
- ・最低限の機能を入れる
- ・プレハブ工法でコンテナ

具体化するアイデア

(輸送コンテナのシェアハウス)

ポイント!!

- ・プライベートとコミュニティ
- ・シェアハウスの集落
- ・低コスト化
- ・プライバシーの確保



(右の図はコンテナ5つを利用した場合)

2015年度 プロジェクトデザイン II

クラス・チーム番号: VS303-5

チーム名: 5

メンバー: 土屋 龍生, 中世古 有貴, 西野 晃,

橋本 佳樹, 松本 千賀来, 吉田 翔貴

担当教員: 伊藤 先生